

## 1. 事業概要

・区間 岩手県宮古市藤原 ～岩手県盛岡市手代森

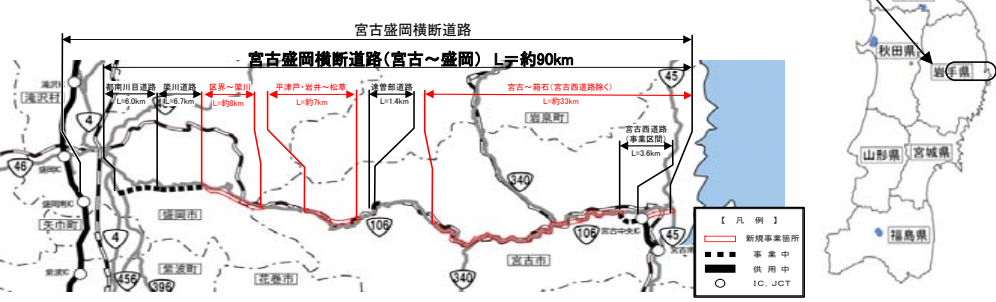


図1 新たに事業化する区間

- ・経緯  
 H23.9.7 : 宮古盛岡横断道路の優先整備区間にかかる概ねのルート公表
- ・地域の要望等  
 H23.6.29 : 岩手県知事より宮古盛岡横断道路の直轄権限代行による早期整備を国土交通省に要望  
 H23.9.7 : 岩手県知事より宮古盛岡横断道路の国による整備を国土交通省に要望

## 2. 必要性の評価

### (1) 課題の整理

- 災害時の救助活動等  
 【緊急支援物資の円滑な輸送】  
 ・被災地(宮古方面)への救援・支援は、緊急支援物資物流拠点(滝沢村)等から横軸(国道106号)により実施(図2)  
 ・国道106号は、通行止めが多数発生(17回/10年)するとともに、防災点検要対策箇所29箇所が存在するなど、安全性・信頼性の確保が課題(図3)  
 ・さらに、大震災後には、交通量が増加し混雑が発生(図4)  
 ・このことは、被災地と内陸の強力な連携を推進し、早期救援・復旧・復興を図るうえでの支障に



図2 被災地への緊急輸送道路

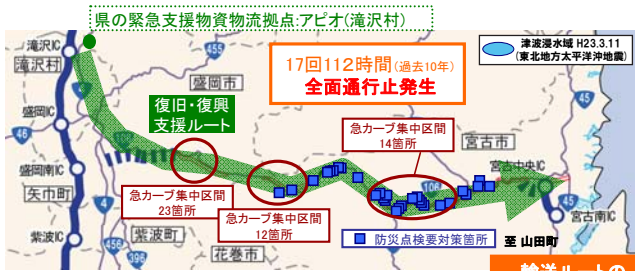


図3 国道106号の問題

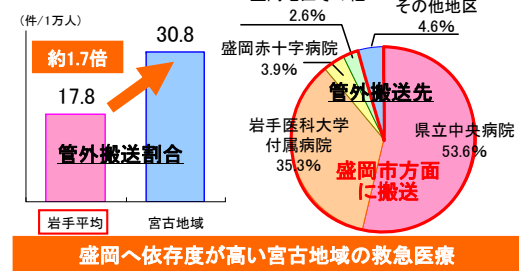
震災後現道区間に交通が集中し混雑発生(交通量が震災前に比べ30%以上増)



図4 国道106号の混雑状況

### ○住民生活

- 【高次医療施設への速達性向上】  
 ・宮古地域の医療圏では心筋梗塞等、対応不可能な疾患があり、95%を盛岡市方面に搬送(図5)  
 ・長い搬送時間や急カーブ箇所が多いため安定した搬送に不安を抱える状況[宮古市～岩手医科大学属病院間 約110分]  
 [急カーブ箇所(R<150m)49箇所]



盛岡へ依存度が高い宮古地域の救急医療

図5 管外搬送状況

### ○地域経済・地域社会

- 【周辺市町村との連携強化】  
 ・国道106号は急カーブ箇所が連続し、宮古市～盛岡市間などの連続性が低く、地域間の連携に支障を来す恐れ(図3、図6)
- 【産業拠点との連結性向上】  
 ・大震災からの早期復旧・復興のため、水産業・コネクタ製造業等の基幹産業の早期再生が急務(図7)【岩手県内のコネクター出荷額の推移】



図6 線形不良箇所

### 岩手県が全国3位の出荷額

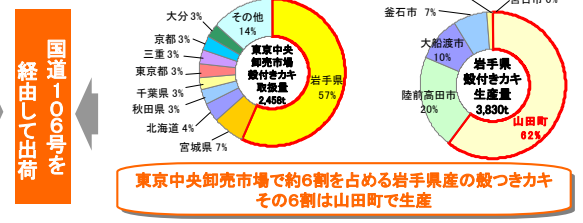
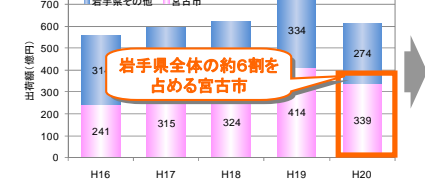


図7 宮古市周辺の産業状況

### (2) 事業の必要性

東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することによる被災地の早期復興の支援、平常時も含めた救急搬送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、横断軸の隘路箇所を解消し速達性を確保する本事業の実施が必要である。

# みやこ もりおか 宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)に係る新規事業採択時評価

## 3. 有効性の評価

### (1) ネットワーク上のリンクとしての防災面の効果

#### ① 主要都市・拠点間の防災機能 【評価:◎】

● 宮古市～盛岡市

現況	→	(目標)整備後	評価
D	→	(B)	◎

	耐災害性	多重性
A	あり	あり
B	あり	-
C	なし	あり
D	なし	なし



図8 主要拠点間連携イメージ

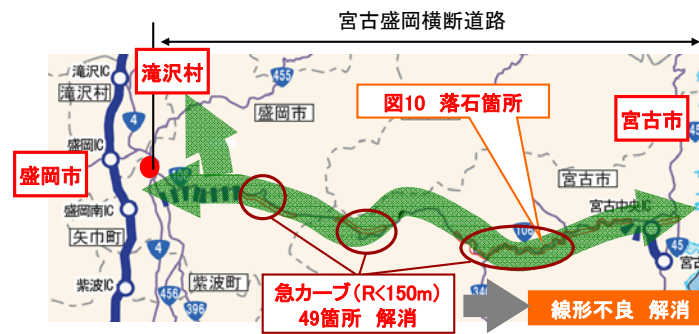


図9 国道106号の隘路区間解消



図10 国道106号の安全性向上

#### ◎ 地域経済・地域社会 【評価:◎】

##### 【周辺市町村との連携強化】

##### 【産業拠点との連結性向上】

- ・急カーブ箇所の回避により、走行性・安全性が向上(図9)
- ・宮古港から盛岡市卸売市場までや、宮古市(コネクタ工場)から岩手内陸方面までの所要時間が短縮、連携強化・連結性向上が図られる(図11)



図11 所要時間変化

#### ② ネットワーク全体の防災機能 【評価:◎】

・災害時における、当該リンク周辺の市町村から、県庁所在地(盛岡市)や隣接市町村等までの、通常時と災害時の到達時間の遅れの程度(弱点度)及び改善の程度

区間	弱点度 (整備前)	弱点度 (整備後)	改善度
区界～築川 平津戸・岩井～松草 宮古～箱石 (宮古～盛岡)	当該リンクが災害により遮断され不通(∞)	通常時に比べ0.7倍の時間短縮	当該リンクの整備により不通が解消(∞)

### (3) 事業の有効性

- ・当該事業の実施により、ネットワーク上のリンクの評価がDランク→Bランクに改善し、防災機能が強化される。
- ・さらに、速達性が向上し、「くしの歯」作戦に象徴される太平洋沿岸と内陸部を結ぶ横断軸の強化が図られ、東北地方全体のリダンダンシーの向上につながるなど、地域の課題を解消するために有効な事業である。

## 4. 事業化する区間の延長、構造規格等

区間	概略延長 (km)	構造規格	設計速度 (km/h)	事業費 (億円)	B/C	
区界～築川	8	1種3級 3種2級	60～80	370	0.5	1.0 (宮古～盛岡)
平津戸・岩井～松草	7			310	0.5	
宮古～箱石	33			1,080	0.8	

### (2) 当該事業による効果

#### ◎ 災害時の救助活動等 【評価:◎】

##### 【救助・救援活動の支援】

- ・沿岸部と内陸部(県庁・緊急支援物資物流拠点)を結ぶ横断軸が強化される(図9・10)、宮古市～盛岡市間における幹線道路の信頼性や速達性が向上
- ・緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援 [宮古市(市役所)～滝沢村(緊急支援物資物流拠点)約131分→約116分]

#### ◎ 住民生活 【評価:◎】

##### 【高次医療施設への速達性向上】

- ・第三次医療施設である岩手医科大学付属病院(盛岡市)への所要時間が短縮されるとともに、急カーブ箇所が解消され(図9)、安定した搬送が可能に [急カーブ箇所(R<150m) 49箇所→解消]

# みやこ もりおか 宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)に係る新規事業採択時評価

## 【平面図】

宮古盛岡横断道路 約100km



凡 例		
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	宮古盛岡横断道路	新規事業化区間
<span style="border-bottom: 1px dashed blue; display: inline-block; width: 20px;"></span>		岩手県事業中間
<span style="border-bottom: 1px dotted red; display: inline-block; width: 20px;"></span>		直轄権限代行区間
<span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px;"></span>		供用中間
<span style="border-bottom: 1px solid purple; display: inline-block; width: 20px;"></span>		国道
<span style="border-bottom: 1px solid yellow; display: inline-block; width: 20px;"></span>		主要地方道・県道
<span style="border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px;"></span>		JR
<span style="color: yellow;">●</span>		R<150m 箇所
<span style="color: red;">×</span>		幅員 5.5m 未満
<span style="color: blue;">■</span>		防災点検要対策箇所
<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>		津波浸水区域 H23.3.11 (東北地方太平洋沖地震)